

キャラクター名
三条慧子(サンゾウケイ)

プレイヤー名

シンドローム	バロール		ワークス	UGN支部長C	カヴァー	記者
	バロール			年齢	28	性別
オプション			年齢	28	性別	女性
覚醒	忘却	衝動	吸血	初期侵食率	34	%
出自	父親母親不在	経験	記憶喪失	邂逅	霧谷雄吾	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	0	0	1			1	行動値	9
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	9
精神	4	1	0			5	戦闘移動	14
社会	2	0	1			3	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	4		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識:	2		情報:UGN(2有)	5	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
真朱の魔眼(100↑)	RC	13r+4		25		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
----	----	----	----	----	----

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
コ:UGN幹部					
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費	
右腕 REC:霧谷雄吾P		N			
霧谷雄吾	P 信頼	N 脅威			
父親(三条官作)	P	N			
井折九十九	P 連帯感	N 隔意			
落谷雲	P 連帯感	N 不安			
永山燧	P 庇護	N 不安			
八十八夜	P	N			
最大財産P:	8	残り財産P:	4		

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コメントレイト:バロール	3	2	マジヤ	-	-	-	-	
効果:	C値Lv(下限値7)							
紡ぎの魔眼	1	1	オート	至近	自身	自動	-	
効果:	D+LV個							
黒星の門	1	2	マジヤ	-	-	-	ピリア	
効果:	D+[LV+1]個, 同イングを可能にする							
黒の鉄槌	3	1	マジヤ	視界	-	対決	-	
効果:	攻+[LV×2+2], 同イング不可							
	2	5	マジヤ	-	単体	対決	80	
効果:	攻+LV×5, 同イング不可							
偏差把握	★	-	マジヤ	視界	シーン選択	自動(意志)	-	
効果:	周囲にある全てのものがどこにあってどう動くのか認識できる。知覚による判定で隠れている者を見つけられる							
屑鉄の橋	★	1	マジヤ	至近	-	自動	-	
効果:	重力を操り、スクラップやガラクタなどを集めて足場を構築できる。戦闘中は使用を禁止してもよい。							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

第2新東京市現支部長。
フリー記者としても活動し、常にあちこち動き回っているのほとんど執務室を空けている。支部の事務仕事はハーヴェストに甘えがち。幼少期のとある事件をトリガーに、覚醒。同時にそれまでの記憶が空白に。それ以来事件の関連情報を追いつけているが、未だ核心的な手がかりは掴めていないまま。
霧谷雄吾とは上司・部下としての直接的な繋がりに加え、17年前の某事件の解明という目的において協力関係にある。(Dロイス:右腕)

ピュアバロールRC型アタッカー。
難易度の高い情報収集にもしっかり手が届くように成長したい。

～2017年 記者時代。霧谷雄吾との邂逅。
2017年 霧谷の抜選でUGNエージェントに。旧友・安達伊予との再会?伊代からコードネームを貰った。たっぷり皮肉が含まれている。
2019年 第2支部長に就任。ハンク、ハーヴェスト、他支部から異動してきたフォックス、覚醒に伴い保護した少年・永山燧と共に、現在任務に当たっている。

【覚醒と邂逅】
2004年、UGN設立の前年。当時11歳だった彼女の、それ以前の一切の記憶が失われた。
“事故”による強い心的なストレスを原因とした解離性健忘だとされ、それ以上の進展は無かった。ただ失った感覚だけが残り、強烈な虚無感と孤独感から能力が覚醒していた(覚醒:忘却)。
既に両親不在。郊外の病院で数年間、最低限のリハビリと生活保護を受けた。この頃から右眼の水晶体にレネゲイドが強く発現するようになり、波長500nm程度の光を吸収している。充血だと誤魔化すには苦しいほど鮮やかな赤色を帯びた。コントロールは可能。

自身の欠陥を埋めるため、半ば取り憑かれたように記憶の手がかりを探すうちに記者の道を行っていた。彼女は情報を集め真実を見抜く能力に長けていた。